

《社会福祉法人 仁育会 経営理念》

地域との連帯を深め信頼される社会福祉施設としての確立と、安心と安全を守るゆとりある生活支援を目指します。

《青梅療育院運営方針》

1. 利用者から安心されるサービスの提供
1. 生活の安全を守るサービスの提供
1. 要介護度に応じた適切なサービスの提供

10月の行事予定

- 5日（木）誕生会
- 13日（金）選択食
- 17日（火）2階理美容
- 22日（日）運動会
- 24日（火）3階理美容

27日（金）選択食



11月の行事予定

- 3日（金）文化祭催事食
- 6日（月）選択食
- 6日（月）インフルエンザ予防接種
- 10日（金）選択食
- 17日（金）寿司の日

21日（火）2階理美容

24日（金）選択食

※3日～10日 文化祭ウィーク



＝第 42 回全国社会福祉経営者大会参加報告＝

9月21日から22日の2日間、兵庫県神戸ポートピアホテルに全国から社会福祉経営者1,513名が参加して、表記の大会が開催されました。

福祉を取り巻く課題は毎年大きく変化してきており、特に4年前からの新型コロナウイルス世界的発症の拡大によって、社会福祉事業にも大きな負担と変化をもたらしてきております。

長期化するコロナ対策と急激な物価高騰の中で、経済界の賃上げによる全産業の賃金格差によって、社会福祉法人の経営環境はかつてない程の厳しさを増してきております。

この大会は社会福祉業界の事業を適正に推進していく代表者の集いであり、極めて厳しい社会環境の中で、次代へと普遍的な事業を推進していくために、特に人材育成について考察するとともに、経営基盤の更なる強化に向けて、研究・協議することを目的として開催されたものです。

いま、全国の社会福祉法人において介護職の人材不足、事業費全体の急激な高騰によって、事業経営が極めて厳しい環境に直面している状況に置かれています。これが来年度の介護報酬改定において、国がどのような対策を提示して来るのか、極めて厳しい財政環境の中において、事業経営への影響に大きな支障が出ないような対策を強く要求していくことが重要課題です。

少子高齢・人口減少が進行し、コロナ禍や物価高騰により、生活困窮者が拡大している今日、個人の尊厳を保障し互いに支え合い、協働していく地域共生社会のさらなる推進が急務となっています。

一方でいわゆる2040年問題と言われる超高齢社会の課題が、想定よりも急速に進行しており、すでに地域社会の維持・継続が困難な状況が顕在化してきています。

地域に根ざし人々の生活を支える私たち社会福祉法人は、地域社会を揺るがすさまざまな困難にも決して怯むことなく、創造的かつ積極的にコミュニティの共通点を追求し、現存の福祉の枠組みを超えたチャレンジをし続けることが求められています。

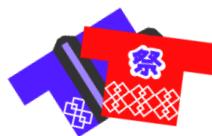
今回の大会宣言として次のような提言が承認されました。「私たちは高齢者福祉事業の適正な事業運営を図るため、地域福祉の存続発展に向けた方策を、ふるさとを支える社会福祉法人の実践について研究協議しましたが、いまある福祉を超えて少子高齢・人口減少とコロナ禍や物価高騰により、生活困窮者が拡大している今日、個人の尊厳を保障し、互いに支え合い協働していく地域共生社会のさらなる推進を図ってまいります。」

理事長 宇津木 敏郎

まだまだ暑いぞ！ スイカ割りだ！



八雲神社御祭禮



9月17日八雲神社御祭禮ではお神輿が敷地の中まで入ってきてくれました！！かわいい子供神輿や威勢のいい掛け声の大迫力お神輿。久しぶりに地元の方と触れ合うことが出来、職員も利用者様も元気をもらいました!(^^)!



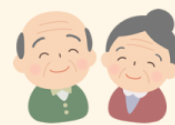
十五夜茶話会



今年は玄関前にテーブルを設置。中秋の名月を楽しみました。



敬老の日



今年も残念ながら来賓者をご招待できない敬老会となりましたが、19名の賀寿者への心温まるビデオレターや職員の余興で素敵な敬老会となりました。

